

# AS/JP3000 6.0 TEST I

第三学年テスト一：読解・書き方・文法

Fall 1997-98  
Japanese Section  
DLLL, York University

## Part II: Reading, Writing, and Structure

1. \_\_\_\_\_ /130
2. \_\_\_\_\_ /24
3. \_\_\_\_\_ /30
4. \_\_\_\_\_ /25
5. \_\_\_\_\_ /30
6. \_\_\_\_\_ /31

Part 1 \_\_\_\_\_ /100

Name: \_\_\_\_\_

Student ID #: \_\_\_\_\_

Total: \_\_\_\_\_ / 370 \_\_\_\_\_ % Grade: A+ A B+ B C+ C D+ D E F

1. 次の文章を読んで質問に答えなさい。

[130]

## アカウンタビリティー

二年前に埼玉の獨協大学から、評価について話してほしいという依頼が、そこで学生部長をしている友人を通じてあった。①初めは学長と食事をしながらの懇談ということであったのが、その二日前に、教職員全員に話してほしいということになって、二時間の講演会になってしまった。ちょうど次の日は、夕方から、東京で飲みながらの会食が予定されていたので、鎌倉の家に帰ったのは⑤午前一時を回っていた。初めは、カナダの大学の事情を話せばよいと思っていたが、一応講演会となると、こちらの事情の紹介というわけにもいかないの、「構造改革-リストラと評価」という題を考えていたが、どうも⑥しっくりいかない気がしていた。依頼は、文部省から、評価を導入せよというお達しをもらったが、やり方は勝手にやれで、どうやっていいか分からないのでということだった。教員の中には、学生に教員の学識を評価させるとは⑦もつての外という意識が強いということだった。⑬こういう受け取り方は私にも分からないわけではないが、自分の経験では、学生の評価は自分のコースや教え方を考えるのにずいぶん役に立つと思っている。

前の晩はかなりの酒も入っていたので、すぐ寝ることにし、講演は翌日の午後四時からであったので、午前中は考える時間があるなど思った次第。翌朝目が覚めて、朝風呂に浸かりながら、⑧はっと思い当たった。「アカウンタビリティーと評価」だと。以前からなんとなく考えていたことが、急にまとまった気がして、後は割とスムーズに梗概をワープロで⑨ものすことが出来、二時間半かかる電車の中で、細かい点を書き入れて行った。専門が言語学なので、意味論的な問題からはいることにした。

②日本語には、アカウンタビリティーにあたる訳語も概念もなく、辞書を見るとレスポンスィビリティーも、両方とも「責任」になっていることが分かる。もちろん、「社会的責任」といえば、アカウンタビリティーに近くなるが、責任という言葉には、「責任を取れ」というような、誤りをしでかしたときに相手をなじったり、自分を責めたりする響きが強いの。どちらかという、道義的責任という色合いが濃い。⑭これに対して、アカウンタビリティーの方は、「責任義務」とでも訳したらいいような、決められた仕事をきちんとする、何らかの決定を行う場合は、⑮その理由や方法をはっきり説明する義務があること、などの履行義務を含んだ責任である。であるから、大学の教員でも、なぜ、どんな理由で、どういう風に教えているか、というような質問を受けたら、⑯それを説明する義

務があることになる。アカウントブルというのは元々可算可能という意味であるから、①それが評価の対象になるわけである。教師が、一年間の授業内容を⑩ちゃんとこなしたか、教え方はどうだったか、試験は公平だったかというような点について学生が評価を下すことになる。日本で⑬こういう考え方が育たなかった一番大きな理由は、契約という概念が育たなかったことにあると言えよう。③契約があつてこそ、履行義務、成功率、失敗に対する責任という考えが出てくるわけで、物事を処理する過程における責任もこのアカウントビリティーの要素となっている。日本文化では、人及び社会に迷惑をかけた時に関わってくる道義的責任という点に重点を置いているようである。アカウントビリティーには感情の入る余地がない、義務履行・不履行の責任と言ってもよいかもしいない。骨子としてこんな話を獨協大学で二時間⑪ぶつたように記憶しているが、準備不足であったとはいえ、割合⑫後味のよい話が出来たと思った。

後日、友人からカセットテープが送られてきて、獨協大学では教職員全員にテープが配られているという話であった。録音をしてもよいかと聞かれたのは覚えているが、まさか⑬こんなに大袈裟になろうとは思っていなかったの、少々こそばゆい気持ちであった。翌年、関係者と飲みながらの話で、課長なる人が、獨協の今のバズ・ワードは何だと思えますかと聞くので、アカウントビリティーかと言うと、そうですとのことであった。最近、インフォームド・コンセントという表現が盛んに話題になっているが、⑭これなども、まさにアカウントビリティーの問題であつて、日本の文化に欠けていた概念を輸入したものであろう。④異文化間コミュニケーションの点でも、外国文化との接触の中で、少し深いところでの相互理解が生まれているのはうれしいし、その一端を担えるのもありがたいことだと思っている。

(1) 下線部①②③④を英語に訳しなさい。 [10x4=40]

(2) 下線部⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫を簡単に日本語で言い換えなさい。 [2x8=16]

(3) 下線部⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳は何を指しますか。 [3x8=24]

(4) 次の質問に答えなさい。 [6x5=30]

- (イ) 獨協大学はなぜ筆者に評価について話すことを依頼したのですか。
- (ロ) 学生が授業を評価することについてかなりの教員がどう感じていますか。
- (ハ) それについて筆者はどう考えていますか。
- (ニ) 筆者は講演をどういふ話から始めましたか。それはなぜですか。
- (ホ) 筆者はなぜ「こそばゆく」感じたのですか。

(5) 「アカウントビリティー」と「責任」の違い、そして「契約」との関係についての筆者の意見を簡単にまとめなさい。 [20]

2. 次の中から八つ選んで英語で意味を簡単に説明しなさい。 [3x8=24]

- (イ) 話に尾鱈おひれをつける
- (ロ) 額面がくめんどおりに受け止める
- (ハ) 気を紛まぎらわせる
- (ニ) 半信半疑はんしんはんぎ
- (ホ) 感慨かんがいに耽ふける
- (ヘ) 死しんだふりをする
- (ト) 腹はらごしらえをする
- (チ) 苦勞くろう人にん
- (リ) にっちもさっちもいかない
- (ヌ) 掃はいて捨すてるほどある
- {ル}身みにしみる
- (7) 運命うんめいのいたずら

3. 次の中から二つ選んで英語に訳しなさい。 [15x2=30]

① 住む所はあるのかと聞かれたので、これから探さがすところだと言うと、社長の家に下宿してもいいと言ってくれたが、それではあまり甘あまえ過ぎていると思じたいい辞退すると、汚きたなくてよければ、夜の電話番をする条件じょうけんで、車庫の上の部屋に家賃なしで住んでいいとのこと、早速好意きつそくこういに甘えた。

② 食事しょくじも終わり、家内は、食べ物たべものの匂においのするものは、すべてきれいに洗い、パンの中にしまい、子供たちもバンの中に寝ねかせ、標高ひょうこう千五百以上の山中はしんしんと冷ひえ込こんできたが、キャンプファイアーの前に座すわり、コーヒーを飲みながら、カナダの雄大ゆうだいさを満喫まんきつしていた。

③ それまでは、積つみ荷にを持って帰ってきた時などは、皆で手伝ってくれたりはしていたが、まだ仲間なかまに入れてもらえていなかったのが、次の日からは、一人前の同僚どうりょうとして対等たいとうの扱あつかいをしてくれるだけでなく、尊敬そんけいしてもくれているように感じた。

4. 次の中から一つ選んで英語に訳しなさい。 [25]

① いわゆる先進工業国と言われる国々で、出生率が軒並みに2.0を割っています。原因は、女性たちの教育レベルが高く、家族計画の教育がいきなりやすかったことに加えて、特に最近では、女性たちの大学進学が増えて、早く結婚しなくなったことや、職業への進出など、女性たちの生き方の変化もあります。むろん、このほか、子供の教育費の高さや、安心して住める住宅が高くて手に入らないこと、女性たちの側からは、働き過ぎの男性たちにもっと育児に協力してほしいなどといったことが挙げられているのです。

② かつて日本の会社は、生産性を高めようと、働くことを最重要視する姿勢をとっていた。朝早くから夜遅くまで会社において、仕事に打ち込むことがサラリーマンの条件であるかのように言われていた時期もあった。しかし、ここ数年企業の考え方も変わってきたように見える。休むことを奨励したり、職種ごとにそれぞれ適した勤務方法を導入することに積極的になってきた。日本人の働き過ぎに対して、海外からの批判が高まったこともある。日本の役所や経済界がこうした問題に配慮して、休みを増やすよう、会社に働きかけたことが、「会社が変わった」きっかけの一つだった。

5. 次の文を英語に訳しなさい。和英辞典を使ってもかまいません。 [30]

日本は、今、急速な高齢化への道を歩んでいる。こうした人口の高齢化は、長寿を喜ぶ一方で、さまざまな社会問題をも引き起こしている。一人暮らしの老人の孤独な死などはその象徴的な例である。核家族化が進む中で、家族がありながら一人で暮らしていた老人がだれにもみとられずひっそりとなくなり、死後何十日もたって発見されたという記事がしばしば新聞をにぎわす。ボケや寝たきりの老人の看護に家族が疲れ、ノイローゼがこうじてその老人を殺してしまったり、心中したりするケースも次第に増えている。これほどではないにしても、家庭に老人を抱えたらどうするか、自分の老後をどう過ごすかは、今や国民的な関心事と言える。

6. 皆さんにとって「ゆとり」ある生活とはどんなものか、二百字ぐらいで書きなさい。 [30]